

第2097回例会

4月19日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]



- 1. 講話**
金沢武士団 代表取締役社長
中野 秀光 氏
「スポーツを通じた街づくり」
- 2. 出欠**
出席 30名 欠席 19名
出席率 68.18% ビジター 2名
- 3. 来訪者 (敬称略)**
金沢西RC 辻 卓
金沢香林坊RC 加藤 孝
- 4. 幹事報告**
・4月26日(木)は休会です
- 5. ニコニコボックス**
講師 中野秀光氏
本日、お話をさせていただきます。
佐賀君、中浦君
金沢武士団の中野秀光さんのお話を楽しみにしています。
岩網君 金沢武士団の中野さんをお迎えして。お話を楽しみにしています。
山上君 結婚30年、銀座・箱根の旅。途切れがちな会話を、娘がつないでくれました(笑)
畠 君 松魚亭の中浦様に、法事でお世話になりました。
合計 18,000円 (累計 554,000円)

第141回 ゴルフコンペ成績

平成 18年 4月 30日 (月) [能登カントリークラブ]

		はまなす	宝達	G	H	N
優勝	上田 宏暢	51	50	101	27.6	73.4
準優勝	水巻 啓光	52	41	93	19.2	73.8
第3位	中田 修子	50	49	99	25.2	73.8
第4位	渡邊 尚孝	51	47	98	24.0	74.0
第5位	中川 茂樹	48	51	99	24.0	75.0
第10位	岩網 大介	46	54	100	24.0	76.0
B B	高岡 昇					

第2098回例会

5月10日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:00 [松魚亭]



- 1. 講話**
金沢工業大学教授
水野 一郎 氏
「州都 金沢へ」
- 2. 出欠**
出席 30名 欠席 19名
出席率 68.18%
- 3. 幹事報告**
・例会終了後に、5月定例理事会開催
- 4. お誕生日祝い (敬称略)**
6日 越田 和好
18日 木村 功一
22日 佃 一成
23日 松本 範夫
29日 北崎 浩三
31日 森 大
- 5. ご結婚記念日祝い (敬称略)**
17日 野村 千秋
19日 内堀 茂
20日 木村 康徳
29日 伊東 尚毅

6. ニコニコボックス

佐賀君、中浦君
金沢工業大学教授、水野一郎先生のお話を楽しみにしています。
岩網君 水野氏を講師にお迎えして。お話を楽しみにしています。
佐賀君 皆様のご支援により、14ヵ年皆出席できたことを感謝しております。有難うございます。
越田君 誕生日のお祝い、有難うございます。今年で、古稀になります。ロータリーの在籍が人生の半分になりました。
合計 9,000円 (累計 563,000円)

第2099回例会

5月17日(木)雨 / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]



- 1. 講話**
浅ノ川総合病院 神経内科
三秋 弥穂 氏
「脳卒中について」
- 2. 出欠**
出席 31名 欠席 18名
出席率 65.96% ビジター 1名
- 3. 来訪者 (敬称略)**
香林坊RC 水内健之
- 4. ニコニコボックス**
佐賀君、中浦君
三秋先生のお話を楽しみにしています。
岩網君 三秋先生をお迎えして。お話、楽しみにしています。
丹羽君 4月1日付で、社長に就任しました。これからも、宜しくお願い致します。
木村(功)君
誕生月となります。また此の度、酒販店「ワインプティック・キムラ」を細々と開業する運びとなりました。有難うございました。
合計 10,000円 (累計 573,000円)

理事会報告

5月10日(木) / 出席者 15名

◆審議事項

- ①お花見夜間例会決算報告
- ②退会会員 大澤久廣君(6月末)、馬場邦彦君(4月末)
- ③新会員候補者 中川敏允氏、喜多利行氏

◆その他

5月クラブ日誌

- 10日(木) 5月定例理事会 松魚亭にて
- 14日(月) 次年度奉仕プロジェクト委員会炉辺会合 マキノにて
- 15日(火) 次年度会員開発・クラブ広報委員会炉辺会合 六花にて
- 24日(木) 次年度クラブ管理運営委員会炉辺会合 権にて
- 24日(木) 次年度理事会 松魚亭にて

講話予定

- 6月 7日(木) (有)土の味 代表取締役 山内外茂男氏
「自身の舌で『残留農薬』『残留肥料』『化学物質』を見分ける方法」
- 6月 14日(木) 倉元由美子氏
「胡弓で奏でる美しき日本の歌」
- 6月 21日(木) 最終夜間例会

- 会長/佐賀 務 ●会長エレクト/内堀 茂 ●副会長/中村 芳明
- 幹事/中浦 洋昭 ●副幹事/向峠 仁志 ●会場監督/松田 光代 ●会計/中川 茂樹
- クラブ会報委員長/大場 修

- 会員数/49名 ●クラブ設立/昭和48年10月3日
- ◎例会日/木曜日 12:30~13:30
- ◎例会場/松魚亭 金沢市東山1-38-30 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273



ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金澤北ロータリークラブ



発行 2018.6.7thu

No. 945

事務局/金沢市上堤町1番15号 金沢上堤町ビル3階
TEL:076-222-2525 FAX:076-224-2882
E-mail:k-kitarc@angel.ocn.ne.jp
HPアドレス:http://www.kanazawa-north.jp



「兼六園・曲水のカキツバタ」

六月の論語

子曰く、
君子は義ぎ以てもつ質しつと為し、
礼以て之を行ない、
孫そん以て之を出だし、
信しん以て之を成す。

アイアンマン・ニュージーランド参戦記

会長 佐賀 務

70才の節目にロータリー会長の仰せつかった。この会長である時期に、フルのトライアスロンを走ろうと考えた。ロータリーの会長として完走すれば、恐らく世界のロータリアンの中でも類がないだろう。フルのトライアスロンは、今では日本で開かれておらず、海外での参戦となる。そこで、日本からの参加者も多い、アイアンマン・ニュージーランドを選んだ。開催日時は3月3日、南半球なので季節は日本と逆で9月頃に当たる。後で思い知らされたのだが、季節が逆ということは試合前の練習時期が、日本では1～2月となる。ご承知のように、今年の北陸は例年にない大雪だった。それでも積雪の少ない時期は、雪の中2km程度のコースを数往復。大雪の時期には、ブーツに簡易アイゼンを巻いて、歩いたり走ったりして通勤した。これで何とか月間100km余りのランニング距離を稼いだ。練習量としては過去最低となった。自転車、水泳についてはジムの練習のみで、ぶっつけ本番である。会場はニュージーランド北島のほぼ中央にある、タウポ湖（琵琶湖ほどの大きい火山湖）に隣接する観光地、タウポである。時差は日本より4時間先行。ニュージーランド航空で、片道10時間半の行程。自転車は専用バックに詰め、飛行機に帯同してゆく。ともかく前日の受付、説明会をすませ、自転車の調整と練習も少してきた。スタートラインに立つまでがなかなか大変である。さて、試合当日、気温15度～24度と残暑の予報。まだ薄暗い早朝、1100人の参加者はスイムのスタート地点に集合。スイム3.8kmは湖沿いの往復コース。水温は19-20度と結構冷たく、選手のウエットスーツは、長袖着用者が圧倒的に多い。AM7時、大砲の号砲とともに長い1日がスタート。水質はとても透明で、水底の石や前方選手の足が見える。クロールは8～9割が腕の力で泳ぐので、足の蹴りはほとんど使わない。折り返しの1.7km地点までは長く感じたが、時計は45分なので、ほぼ予測タイム。後半は周りの選手も少なくなり、ただひたすら泳ぐ。上陸後、着替えテントまで400m走ってスイム終了。時間は1時間40分で普通のタイム。まあまあだ。ヘルメット、靴下、シューズを着用。100万円かけた愛車のCEEPOにまたがり、自転車出発。出口では妻の声掛けに答える。コースは湖から直角に折れ、高低差200m程度の外輪山を超えると、あとは平坦な内陸に向かうコース。45km地点で折り返し、往復で90km、これ

を2周して合計180kmとなる。往路は向かい風、8-10m/秒とかなり強い。エアロポジションを取り、空気抵抗を減らす。往路は26km/時、帰路は27km/時の速度となった。1周してスタート地点に戻ると、正午頃。日差しが強く（紫外線は日本の7倍だとか）暑い。2周目は、首筋の痛みとの戦い。周囲の景色も味わう余裕はない。終盤で右大腿上面が痛くなる。引き足を主体にして足を休ませる。バイク180kmを6時間54分で終了。7時間を想定していたのでまあまあ。着替えテントでランニングシューズに履き替える。時刻はPM4時頃、まだ日差しは強い。ランは湖に沿う1周14kmの往復ルートを3周する、42kmのコース。出発口で妻の応援、元気に飛び出した。300mも行かない内に、右大腿がつる寸前。ついたら万事休す、で途中棄権が頭をかすめる。引きずるように走りながら、2.5km毎のエイドステーションで大腿を氷水で冷やす。2周目に入る所で、ポシエットにあるアミノバリュー（分岐アミノ酸）に気づく。これは筋肉痛にある程度効果がある。また糖質であるエナジー・ジェルを十分補給。さらに沿道の妻から、湿布、鎮痛剤を貰って使用した。しばらくすると確かに痛み、痙攣が収まり、走れるではないか。完走とは歩かずに走りきることなので、7km/時の遅いスピードでも走る姿勢は崩さない。暗くなり、涼しくなったこともあるが、1周目（14km）は2時間1分かかったが、2周目1時間56分、3周目は1時間52分と、後半タイムを上げて5時間49分でゴール。最後はラストスパートする余裕。総合14時間39分54秒で851位、70-75才台では10人中5位だった。ゴール後メダルと完走タオルを受け取り、自分の自転車を回収に行った。すると、前日訪問した、タウポ・ロータリークラブのマリー・ルックウッドさんがボランティアしておられ、ツーショットが取れた。ロータリアンとしても交流できたことに感謝します。



筍から学ぶこと

会員 中村 芳明

我が家には、先祖代々の筍山があります。20年前までは出荷していましたが、今は規模を縮小して、好きな仲間と手入れしています。毎年、旬の時期に筍大好きの人たちが集まり筍掘りの後パーティーをします。シーズン中3～4回ぐらい行おうのですが、多いときは30人以上にもなります。筍料理はもちろん、皆さんが色々な食材を持ち寄り、海の幸山の幸を堪能します。釣り好きの私は漁師とも知り合いになり、彼は、朝捕れの魚と猟師仲間からの猪肉や熊肉も持ってきてくれます。また、奈良から毎年来られる方は、高級ワインを持ってこられます。その方は初めて我が家の筍を食べたとき「筍ってジューシーなのですね」と感動されていました。それから病みつきになったようです。多分、他より何か勝っているのだらうと想像しますが、食べなれた私には分かり兼ねます。美味しい筍のおかげで、竹藪を荒廃させず守ってこられたことに感謝して、恒例になった我が家の筍イベントを、これからもつづけて行きたいと思っています。

ここで筍の豆知識。筍の芽は冬の間でできていて、そして春になり、土の温度が上がり、伸びたいと順番に出てきます。つまり、前の年に出てくる数は決まっています。春にあらたな芽をつけ、出てくることはありません。また、筍には表年と裏年があります。一つの山だけでなく地域全体がそうなります。何故なんだろう？ 明確な答えはないのですが、私が想像するには、生き延びるためではないかと考えます。筍を食べる猪が毎年同じだけ食べると、猪の数が増え、筍は食べつくされてしまいます。しかし、少ない年をつくれれば、その年の量以上は次の年に食べられません。つまり、多い年の筍は残ることができる。でも、地域全体で表年と裏年を決めていないと効果はありません。竹はどうやって決めているのでしょうか、たぶん、竹だからみんなで「笹やき」あってるのでしょうか。

浮き沈みがあっても、竹のように自然の流れに任せ、真っすぐ大きく伸びたいものですが、目の前のことに振り回され、なかなか大きくなれない小さな自分を痛感しています。

ロータリーの歩み② その7

第2680地区PDG 田中 毅

小売商の場合も同様に、正しい管理方法の下で、十分な量の良い商品を顧客に提供することです。商品の品質が高いこと。一度売った商品には責任を持つこと。理屈に合った価格であること。商品の種類が豊富で、十分な量が確保できること。店主や従業員の態度がいいこと。商品知識があること。広告が適正であること。こういうことが守られている店には、何度でも行きたくなるものです。すなわちリピーターが確保できるのです。

シェルドンは人間関係学からも事業経営を説いています。

良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であり、そのためには、適正な報酬を支払うこと、安全性、福利厚生、社会保障、快適な生活を保証すること、教育の機会を与えることが必要です。資本家が利益を独占するのではなくて、従業員や取引に関係する人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法に繋がります。